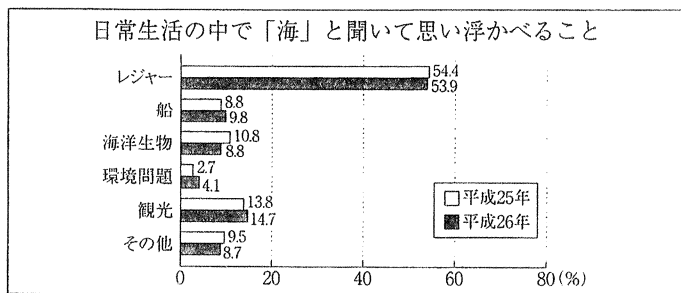
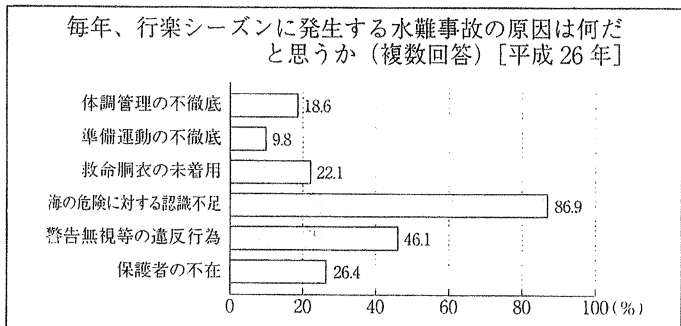


中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、「総合的な学習の時間」に海で安全に過ごすことの現状と課題について調べ、話し合いをしている。次のグラフ1、グラフ2、グラフ3と文章は、そのときのものである。これらについてあとの問いに答えなさい。

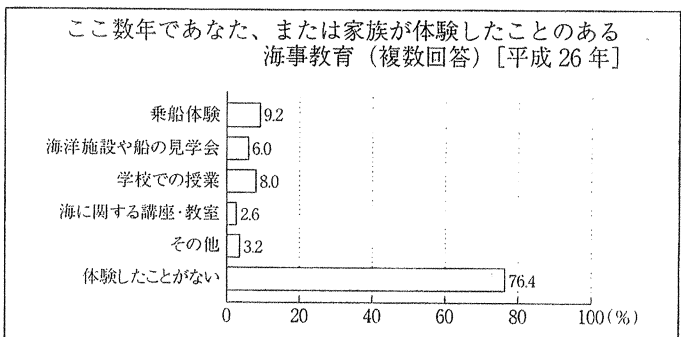
グラフ1



グラフ2



グラフ3



(グラフ1、グラフ2、グラフ3)
日本海事センター「海に関する国民意識調査2014」より作成。

Aさん 本日は、海で安全に過ごすことの現状と課題がどのようになっているのかを考えてみましょう。

まず、日本海事センターの「海に関する国民意識調査二〇一四」によると、「海が好き」と回答した人は、全体で六十九・九パーセントもいるそうです。

Bさん 海が好きなのは多いですね。それに関連して、グラフ1は、日常生活の中で「海」と聞いて思い浮かべることの一つだけ挙げてもらい、それを集計したのですが、これを見ると、人々が海に対してどのような印象をもっているのかを把握できます。平成25年と平成26年における回答の割合を見てみると、Iということがわかります。

Cさん つまり、海に関する国民意識調査の結果を見る限り、海を、楽しむ場所と位置付けている人が非常に多いと言えるそうですね。

Dさん そうですね、特に、夏休みは大勢の人が海を訪れます。しかし、毎年、行楽シーズンとなる五月から八月にかけては水難事故が発生しています。皆さんもニュースなどで水難事故が伝えられているのを見たり聞いたりしたことがあるのではないのでしょうか。

Aさん 残念なことに、毎年同じような水難事故のニュースを見たり聞いたりします。Cさんが話したように、海は楽しむ場所であるにもかかわらず、水難事故が起きているのが現状です。そこで、同じ意識調査には、水難事故について尋ねている質問もあります。

Dさん グラフ2「毎年、行楽シーズンに発生する水難事故の原因は何だと思うか」の回答として、「海の危険に対する認識不足」と答えた人が、八十六・四パーセントと一番多くなっています。

Bさん そのように考えている人が多いことから、私たちが海で安全に過ごすためには、海が楽しい場所であるのと同時に、危険な場所でもあるという認識をもつことが重要であると言え

でしょう。

Cさん 同じくグラフ2では、「II」と回答した人が五割近くいることもわかります。海での過ごし方に関わってくることでですね。このことから、私たちは、海で過ごすマナーを守ることも大切だと思います。

Bさん さらに、グラフ3「ここ数年であなた、または家族が体験したことのある海事教育」の回答として、「体験したことがない」と答えた人が、七十六・四パーセントと圧倒的に多いことがわかります。

Dさん 海事教育には、乗船体験や学校での授業、海洋施設や船の見学会などがありますが、私たちは、海事教育を受ける機会を積極的にもつことが必要であると考えます。

Aさん ここまで、海で安全に過ごすことの現状と課題について話してきましたが、私たちが考えなければならぬことについては、Bさん、Cさん、Dさんがまとめてくれたように思います。それらをふまえ、海で安全に過ごすために大切なことを改めて整理すると、

私たちは、

大切である。

ということになります。

本日の話し合いを参考に、海での過ごし方をみんなで考えていきましょう。

(ア) 本文中の I・II に入れるものとして最も適するものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

I 1 「レジャー」は五割以上であり、平成25年よりも平成26年の方が大きい

2 「レジャー」は、それぞれの年において、「船」と比べると六倍以上になっている

3 「レジャー」は、それぞれの年において、「海洋生物」よりも四十五パーセント以上大きい

4 「レジャー」と「観光」のそれぞれの年における合計は、六十五パーセント以上である

II 1 保護者の不在

2 警告無視等の違反行為

3 体調管理の不徹底

4 救命胴衣の未着用

(イ) 本文中の I・II に適する「Aさん」のことは、次の①～③の条件を満たした一文で書きなさい。

① 書き出しの「私たちは、」という語句に続けて書き、文末の「大切である。」という語句につながるように書くこと。

② 書き出しと文末の語句の間の文字数が六十字以上七十字以内となるように書くこと。

③ 「海で安全に過ごすために大切なこと」について三つの点に触れていること。